

令和6年度
福島町議会定例会
6月会議議案

- 報告第1号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について

福島町

答弁指定事項進捗状況調書一覧

整理No.	質問要旨	議員名
33	花田俊勝奨学金基金について	平沼 昌平
34	高校魅力化事業について	平沼 昌平

答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	R6. 3. 18
開催日	R6. 3. 11	議案名等		議案第80号 令和6年度福島町一般会計予算【花田俊勝奨学金基金費】	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨	<p>花田俊勝奨学金基金費については、親が福島町に在住していないと該当にならないとしているが、福島商業高校に29名の子ども達が入ってくる中で、今後、この子ども達に対して同じ福島町の子ども達という概念から考えると、このままの奨学金で良いのかという懸念が残る。子ども達に対して、そこからは別ですというような対応をしていくのかどうなのか、考えを伺いたい。</p>				
答弁要旨 (答弁者：小野寺教育長)	<p>今まで中々想定し得なかった事ですが、1期生が1年生で、今後、2年3年生になっていく段階で本人たちの進路希望等があると思います。親御さんのニーズを十分踏まえ懇談をしながら、把握に努め、改正が必要であれば、広くという風になろうかと思うが、奨学金の仕組みでは、本人が返済することとなっているものの、往々にして親が返している場合が多く、親御さんが町内にいないのは、やはり非常に課題になると思いますので、教育委員会で慎重に検討してまいりたいと思っております</p>				
対応・進捗状況	対応済み (年 月 日)	対応中		実施不可	
取り組み状況	<p>■令和6年6月3日 現在 今後の教育委員会議等で、検討を行っていく予定であります。 なお、定住に結び付けるための制度や新たな支援策については、厳しい財政状況も鑑み、関係部署や議会と議論を深めていかなければならないものと認識しております。</p>				
調査を終了する本会議	令和8年度定例会6月会議				
その他参考事項	追跡内容は上記の1項目としました。				

答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	R6. 3. 18
開催日	R6. 3. 12	議案名等		議案第80号 令和6年度福島町一般会計 【高校魅力化推進事業費】	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨		<p>新しい寮はある程度子供を呼び込むため、一つの目玉として作ったが、高校は基本的には40人学級であり、寮だけでなくその子供達を受け入れる体制を検討しておく必要があると思う。そうしないと生徒の活動自体が委縮したままになってしまうような気がするから、町外から来た子供を全て寮ではなく、民宿や下宿で対応する視点も考えていくべきだと思います。</p> <p>町内の家庭に入っていくことで生活や文化などを体験でき、「地元に残りたい」「将来Uターンしたい」との気持ちが芽生えることにつながると思うので、町内の家庭の協力を得ながら進めていくことを考えてみてはどうか。</p> <p>現実的に厳しく難しいかもしれないが、今のままでは高校と地域の接点が見いだせないような気がするため、検討してみてもどうか。</p>			
答弁要旨 (答弁者：小野寺教育長)		<p>今現在、青少年交流センターは個室が24室ありますが、来る子供達を全て受け入れるとなると120室必要となり、今の町の財政から考えると難しいものがあります。そのため青少年交流センターは毎年17人に限って募集していきたいと考えております。</p> <p>青少年交流センターに枠を設ける以上、入れない子供が出てきます。それでもなお福島商業高校に入りたいというお子さんにはやはり下宿や、奥尻の「島おじ」「島おば」のような形で受け入れてくれるご家庭があるのかどうかを調査しながらお願いしていくことが必要になるかと思いますが、これまでも函館等から来てくれた生徒がいましたが、町内の民宿に下宿のような形で滞在し、3年間満度にて卒業した生徒は少なく、ほぼ途中で退学しているのが現状でございます。</p> <p>まず、応援していただいている教育振興会や商業高校OB会と話し合いながら、受入家庭があるのか、もしあればどういう条件なら受け入れてもらえるのかなどを今後模索してまいりたいと思います。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (年 月 日)	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中		実施不可
取り組み状況		<p>■令和6年6月3日 現在</p> <p>今年度入学した生徒に入学動機を伺ったところ、「個室であり、集団として成長できる新潮学舎に入居できなければ受験しなかった」と多くの生徒が回答しております。</p> <p>生徒の受入れについては、当面27室の増築により対応できるものと考えておりますが、機会をみて教育振興会や福島商業高校同窓会などからご意見を伺ってまいります。</p>			
調査を終了する本会議			令和8年度定例会6月会議		
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			